




I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立八戸第一養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	どうぶつ園のじゅうい		
	単元(題材)の目標	順序を考えながら内容を読み取り、自分の生活経験と比べながら感想をまとめる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	2 年 2 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童は2名である。 ・書字の際に力が入りやすく、回答欄の中に字を書くことが難しい児童がいる。 ・テストの際に問題文の読み上げ支援が必要な児童がいる。聞いて理解する方が得意である。 ・タブレットを用いて簡単な文を書くことができる。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	Keynote、Google Classroom Google ドライブ	  	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・音声読み上げにより、題材や問題文の内容を理解するため。 ・筆記の負担軽減のため。 ・テストの様式に合わせて縦書きのテキストボックスを使うため、Keynote を使用する。 		
活用の状況と支援	【教師の準備】 ①Keynote でテストを作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・業者テストをスキャンし、プレゼンテーションの背景にする。 ・題材及び問題文の場所に、教師が読み上げた音声を挿入する（「オーディオを録音」）。 ・回答欄に、テキストボックスを挿入する。 ②Classroom に、課題として投稿する。 【児童の操作】 ①課題を開き、解答する。 <ul style="list-style-type: none"> ・読み上げ支援が必要なときは、アイコンを押して音声を聞く。 ・解答するときは、テキストボックスに入力する。 ※テキストボックスの選択など難しい操作は、アシスティブタッチを活用する。 ②Google ドライブの共有フォルダに提出する。 【児童の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ・2名とも問題文の読み上げ機能を使用した。うち1名は、題材の読み上げ機能も使用し、聞いた後に指で追いつながら1行ずつ黙読する様子が見られた。 ・2名とも教師の支援を受けながら、書字よりも速く入力したり修正したりすることができた。 			